



2023年1月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年3月16日
東

上場会社名 株式会社coly 上場取引所
 コード番号 4175 URL https://colyinc.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中島 瑞木
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部長 (氏名)村上 寛奈 (TEL) 03(3505)0333
 定時株主総会開催予定日 2023年4月27日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2023年4月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年1月期の業績(2022年2月1日~2023年1月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年1月期	5,537	△15.1	△207	—	△206	—	△320	—
2022年1月期	6,519	3.0	1,498	△27.7	1,466	△29.2	964	△31.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年1月期	△58.29	—	△4.9	△2.9	△3.7
2022年1月期	177.89	—	21.3	26.0	23.0

(参考) 持分法投資損益 2023年1月期 ー百万円 2022年1月期 ー百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年1月期	7,243	6,597	91.1	1,199.00
2022年1月期	7,760	6,918	89.2	1,276.63

(参考) 自己資本 2023年1月期 6,597百万円 2022年1月期 6,918百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年1月期	△683	△115	△3	6,097
2022年1月期	565	△33	3,787	6,899

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2022年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年1月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2024年1月期の業績予想(2023年2月1日~2024年1月31日)

2024年1月期の連結業績予想については、非開示といたします。詳細は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年1月期	5,502,900 株	2022年1月期	5,502,900 株
2023年1月期	80 株	2022年1月期	35 株
2023年1月期	5,502,842 株	2022年1月期	5,419,511 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2023年3月23日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算補足説明資料については、2023年3月16日(木)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
(持分法損益等)	9
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられる中、ワクチン接種の普及や各種政策の効果により段階的に経済活動が再開に向かいましたが、物価上昇や為替相場の変動により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社が主に事業を展開するモバイルオンラインゲーム市場は、2012年より市場が拡大し、2023年には前年比102.5%の1兆3,390億円まで拡大が見込まれており(注1)、また、2022年のグッズの推定市場規模は1兆5,300億円となるなど(注2)、モバイルオンラインゲーム市場・コンテンツ市場ともに底堅く推移すると想定しております。

このような経営環境のもと、当社はモバイルオンラインゲームに関しては、新作ゲームタイトル『&0』のリリース、運営中の各ゲーム作品の各種施策の実施、また、新規ゲームタイトル開発を複数同時に進行できる体制の構築に取り組みました。また、MD(マーチャンダイジング)に関しては、2022年4月に当社初となる常設店舗「coly more! 池袋PARCO店」の開店、リアルイベントの実施などに取り組みました。しかしながら、運営中ゲームの売上の伸び悩みと、新作ゲームのサービス終了を判断したことにより前期比で売上が減少しました。また、新規施策・新規事業への先行投資をすすめたことにより、販売費及び一般管理費のうち主として人件費及び研究開発費等が増加いたしました。それに加えて特別損失に投資有価証券評価損68,526千円等を計上しております。

その結果、当事業年度の業績は、売上高5,537,488千円(前期比15.1%減)、営業損失207,318千円(前事業年度は営業利益1,498,599千円)、経常損失206,946千円(前事業年度は経常利益1,466,101千円)、当期純損失は320,780千円(前事業年度は当期純利益964,093千円)となりました。

なお、当社はコンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(注1) 出典：『ファミ通ゲーム白書2022』株式会社角川アスキー総合研究所、国内オンラインプラットフォームゲームコンテンツ市場規模推移「ゲームアプリ(スマートデバイス+SNS)」

(注2) 出典：株式会社キャラクター・データバンク『Chara Biz Data 2022②』「キャラクター商品の小売市場規模の推移」

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

当事業年度末における総資産は、前事業年度末に比べて516,317千円減少し、7,243,907千円となりました。これは主に現金及び預金801,729千円の減少によるものです。

(負債の部)

当事業年度末における負債は、前事業年度末に比べて195,465千円減少し、646,042千円となりました。これは主に未払法人税等133,461千円の減少によるものです。

(純資産の部)

当事業年度末における純資産は、前事業年度末に比べて320,851千円減少し、6,597,864千円となりました。これは当期純損失を320,780千円計上したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は6,097,511千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、683,381千円となりました。これは主に、税引前当期純損失287,840千円、契約負債の減少額199,153千円、法人税等の支払額306,672千円などの支出があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、115,278千円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出70,380千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、3,070千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出3,000千円があったことによるものです。

(4) 今後の見通し

当社は、これまで「もっと、面白く」を企業理念に掲げ、モバイルオンラインゲームの企画・開発及び運営を軸に自社IPの活用を中心とした事業展開に取り組んでまいりましたが、2024年1月期の業績予想は、以下の理由から合理的かつ信頼性のある業績予想の提示が困難と判断し、非開示といたします。

- ・今期リリース目標としている作品について、売上高の合理的な算出が困難であること
 - ・モバイルオンラインゲーム市場を取り巻く競合環境の変化が激しく、売上動向の予測が困難であること
 - ・新型コロナウイルスに関する規制緩和による、エンターテインメント業界への経済的影響が読み切れないこと
- なお、今後の進捗を踏まえ、業績予想の算定が可能になった場合は速やかに開示する方針です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準を採用することとしておりますが、将来的な国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年1月31日)	当事業年度 (2023年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,899,241	6,097,511
売掛金	430,433	492,791
商品	64,767	114,370
貯蔵品	33	219
前渡金	12,523	8,875
前払費用	53,217	55,584
その他	91,186	273,756
流動資産合計	7,551,403	7,043,109
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	14,081	24,590
工具、器具及び備品（純額）	4,187	15,067
建設仮勘定	—	990
有形固定資産合計	18,269	40,647
無形固定資産		
ソフトウェア	7,530	6,215
無形固定資産合計	7,530	6,215
投資その他の資産		
投資有価証券	—	1,853
関係会社株式	100	100
繰延税金資産	30,093	—
敷金	152,828	151,981
投資その他の資産合計	183,021	153,934
固定資産合計	208,821	200,798
資産合計	7,760,225	7,243,907

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年1月31日)	当事業年度 (2023年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	38,734	93,942
1年内返済予定の長期借入金	3,000	—
未払金	76,799	137,536
未払費用	127,446	182,210
未払法人税等	139,199	5,737
未払消費税等	31,466	—
前受金	387,087	—
契約負債	—	187,933
預り金	20,521	16,631
賞与引当金	13,254	22,049
その他	4,000	—
流動負債合計	841,508	646,042
負債合計	841,508	646,042
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,309	1,910,309
資本剰余金		
資本準備金	1,905,309	1,905,309
資本剰余金合計	1,905,309	1,905,309
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	3,103,230	2,782,449
利益剰余金合計	3,103,230	2,782,449
自己株式	△133	△203
株主資本合計	6,918,716	6,597,864
純資産合計	6,918,716	6,597,864
負債純資産合計	7,760,225	7,243,907

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)	当事業年度 (自 2022年2月1日 至 2023年1月31日)
売上高	6,519,896	5,537,488
売上原価	3,213,236	3,398,286
売上総利益	3,306,659	2,139,202
販売費及び一般管理費	1,808,060	2,346,521
営業利益又は営業損失(△)	1,498,599	△207,318
営業外収益		
受取利息	41	68
受取配当金	2	—
為替差益	—	73
その他	422	249
営業外収益合計	465	391
営業外費用		
支払利息	131	12
為替差損	1,572	—
上場関連費用	13,737	—
株式交付費	17,403	—
その他	118	6
営業外費用合計	32,963	19
経常利益又は経常損失(△)	1,466,101	△206,946
特別損失		
減損損失	—	12,367
投資有価証券評価損	—	68,526
特別損失合計	—	80,893
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	1,466,101	△287,840
法人税、住民税及び事業税	441,241	2,847
法人税等調整額	60,765	30,093
法人税等合計	502,007	32,940
当期純利益又は当期純損失(△)	964,093	△320,780

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)

(単位：千円)

	株主資本						純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式		株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	5,000	—	—	2,139,136	2,139,136	—	2,144,136	2,144,136
当期変動額								
新株の発行	1,905,309	1,905,309	1,905,309				3,810,618	3,810,618
当期純利益又は当期純損失(△)				964,093	964,093		964,093	964,093
自己株式の取得						△133	△133	△133
当期変動額合計	1,905,309	1,905,309	1,905,309	964,093	964,093	△133	4,774,579	4,774,579
当期末残高	1,910,309	1,905,309	1,905,309	3,103,230	3,103,230	△133	6,918,716	6,918,716

当事業年度(自 2022年2月1日 至 2023年1月31日)

(単位：千円)

	株主資本						純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式		株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	1,910,309	1,905,309	1,905,309	3,103,230	3,103,230	△133	6,918,716	6,918,716
当期変動額								
新株の発行			—				—	—
当期純利益又は当期純損失(△)				△320,780	△320,780		△320,780	△320,780
自己株式の取得						△70	△70	△70
当期変動額合計				△320,780	△320,780	△70	△320,851	△320,851
当期末残高	1,910,309	1,905,309	1,905,309	2,782,449	2,782,449	△203	6,597,864	6,597,864

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)	当事業年度 (自 2022年2月1日 至 2023年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	1,466,101	△287,840
減価償却費	4,776	11,872
敷金償却費	722	1,664
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	68,526
減損損失	—	12,367
受取利息及び受取配当金	△43	△68
支払利息	131	12
株式交付費	17,403	—
売上債権の増減額 (△は増加)	170,038	△62,358
商品の増減額 (△は増加)	△1,801	△49,602
前払費用の増減額 (△は増加)	△26,569	△2,366
仕入債務の増減額 (△は減少)	△241	55,207
未払金の増減額 (△は減少)	△23,662	59,514
未払費用の増減額 (△は減少)	29,979	54,764
前受金の増減額 (△は減少)	230,361	—
契約負債の増減額 (△は減少)	—	△199,153
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△239,169	△80,545
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,838	8,795
その他の資産の増減額 (△は増加)	△85,442	69,599
その他の負債の増減額 (△は減少)	45,305	△37,156
小計	1,590,727	△376,764
利息及び配当金の受取額	43	68
利息の支払額	△131	△12
法人税等の支払額	△1,024,984	△306,672
営業活動によるキャッシュ・フロー	565,655	△683,381
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,430	△41,379
無形固定資産の取得による支出	△5,700	△717
投資有価証券の取得による支出	—	△70,380
敷金の抛出による支出	△18,489	△2,802
その他	△100	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,719	△115,278
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△6,000	△3,000
株式の発行による収入	3,793,215	—
自己株式の取得による支出	△133	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,787,082	△3,070
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,319,019	△801,729
現金及び現金同等物の期首残高	2,580,222	6,899,241
現金及び現金同等物の期末残高	6,899,241	6,097,511

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当該事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、モバイルオンラインゲームの収益認識については、従来はユーザーがゲーム内有償通貨を使用しアイテムを購入した時点で収益を認識しておりましたが、ユーザーがゲーム内アイテムを購入した時点以降のアイテム使用期間を見積り、当該見積り期間に応じて収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当事業年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当事業年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

また、前事業年度の貸借対照表において「流動負債」に表示していた「前受金」は、当事業年度より「契約負債」に含めて表示しております。ただし、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

この結果、当事業年度の損益及び利益剰余金期首残高に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社は、コンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)	当事業年度 (自 2022年2月1日 至 2023年1月31日)
1株当たり純資産額	1,276.63円	1,199.00円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	177.89円	△58.29円

(注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)	当事業年度 (自 2022年2月1日 至 2023年1月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	964,093	△320,780
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に帰属する当期純利益又は 普通株式に帰属する当期純損失(△)(千円)	964,093	△320,780
普通株式の期中平均株式数(株)	5,419,511	5,502,842

(重要な後発事象)

該当事項はありません。